

2026 年度 授業概要

科目名		義肢装具療法演習II			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕 義肢装具療法演習では、講義とグループワークにもとづいて3年次に学んだ義肢装具について、それらが必要とされるCASEについて幅広く知識を習得することを目的とする。装具演習では特に各疾患に対する装具治療の役割を把握し、実際どのように行われるのかを知る。								
〔授業全体の内容の概要〕 CASEに対してグループワークとディスカッションを中心に行う。考察した内容は教員、学生からの質問に対して、その場で口頭にて答える。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 【義肢】下腿義足/大腿義足に関し、適切なアライメントや適合の基準が述べられる。 【装具】装具療法が必要な各疾患について説明できる。また、各疾患に対する装具療法の役割を説明できる。 【基礎医学】基本的な解剖学的知識と適切な医学的用語を用いてプレゼンテーションを行う事ができる。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション。3年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY							
2	3年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY							
3	3年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY							
4	装具実習Ⅳ(上肢装具)に関するCASE STUDY							
5	装具実習Ⅳ(上肢装具)に関するCASE STUDY							
6	装具実習Ⅴ(骨関節疾患)に関するCASE STUDY							
7	装具実習Ⅴ(骨関節疾患)に関するCASE STUDY							
8	装具実習Ⅴ(骨関節疾患)に関するCASE STUDY							
9	装具実習Ⅴ(骨関節疾患)に関するCASE STUDY							
10	義肢実習Ⅱ(義手)に関するCASE STUDY							
11	義肢実習Ⅱ(義手)に関するCASE STUDY							
12	義肢実習Ⅳ(大腿義足:IRC)に関するCASE STUDY							
13	義肢実習Ⅳ(大腿義足:IRC)に関するCASE STUDY							
14	義肢実習Ⅳ(大腿義足:IRC)に関するCASE STUDY							
15	総まとめ							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具学 第4版	川村次郎他	医学書院
装具学 第4版	飛松 好子他 編	医師薬出版株式会社
運動器疾患とリハビリテーション第2版	加倉井 周一他	医師薬出版株式会社

標準整形外科学 第12版	松野丈夫他	医学書院
義肢学第3版	澤村 誠志	医歯薬出版(株)
義肢製作マニュアル第2版	田澤 英二	医歯薬出版(株)

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験(終講試験・中間試験・小テスト)により認定する。